



慶應義塾大学

論理と感性のグローバル研究センター

2022 年度末公開成果報告会

Global Research Centre for
Logic and Sensibility

日時:2023年3月2日(木) 12:30~16:45 参加自由

場所:南館地下4階 ディスタンスラーニング室

参加希望の方は下記お問い合わせ先まで、ご氏名、所属先を明記の上ご連絡下さい。

プログラム

12:30 開会

開会の挨拶:倉田敬子(文学部長)

Session I 12:35~13:55

(座長:柏端達也)

● 文化人類学グループ

野地 洋介(社会学研究科)

『心臓突然死を巡るリスクテクノロジーの医療人類学:未来予測と当事者との相互作用』

● 社会心理学グループ

平石 界(文学部)

『社会心理学の一般化可能性問題を整理する』

● 哲学グループ

窪田 愛(本センター)

『対立的談話関係「逆接」「譲歩」に見る自然言語の特徴』

● 生物心理学グループ

瀬口 瑛子(本センター)

『鳥類における社会的絆とその神経基盤』

Session III 15:35~16:45

(座長:皆川泰代)

● 民族学考古学グループ

山口 徹(文学部)

『景観の民族考古学—経験されたトンガレヴァ環礁のマラエ(祭祀遺跡)—』

● 感性科学グループ

川畑 秀明(文学部)

周一禎(本センター)

佐野 貴紀(社会学研究科)

『人工知能技術を用いた感性科学研究』

● 認知神経科学グループ

梅田 聡(文学部)

『気圧感知のメカニズムと精神・神経の障害』

Session II 14:15~15:15

(座長:安藤寿康)

● 発達科学グループ

星野 英一(本センター)

『ASD リスクの異なる6ヶ月乳児における母声・他者声の音声処理の脳機能結合』

● 美学美術史学グループ

後藤 文子(文学部)

『改革庭園の芸術学的再考をめぐる』

● 遺伝と教育グループ

藤澤啓子(文学部)

『保護者は『良い』保育園を選ぶことはできるのか』

閉会の挨拶 梅田聡(文学部・本センター長)

16:45 閉会

※発表順は変更の可能性があります。
プログラムの最新情報はセンターHPを
ご覧ください



主催:慶應義塾大学 論理と感性のグローバル研究センター (<http://www.carls.keio.ac.jp/gcarls/>)

お問い合わせ先:本報告会事務局 (e-mail: grcls.contact-group@keio.jp)